

都道府県医師会 会長 殿

公益社団法人 日本医師会

会長 松本吉郎

（公印省略）

### JMAT研修 オプション研修（COVID-19 編）の開催について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて本会では、JMAT研修のオプション研修（COVID-19 編）を令和 5 年 7 月 30 日（日）に開催することといたしました。

JMAT研修は、JMAT（日本医師会災害医療チーム）に関する研修を行うことにより、災害への備えを十分なものとし、かつ、災害発生時において、被災地の都道府県医師会や郡市区医師会等との協働による医療支援活動の充実に資することを目的としております。

今回のオプション研修（COVID-19 編）は、日本医師会の令和 2・3 年度救急災害医療対策委員会での検討を踏まえ、別添の通り新たにカリキュラムを策定したものです。今般、令和 4・5 年度と同委員会において、このカリキュラムに基づき検討を進め、関係学会にも協力をいただきながら実施することを予定しております。（別添のプログラムのうち、今回は 2-1 までを実施）

つきましては、貴会より救急災害医療担当役員等のご出席を賜りたく、お願い申し上げます。

今回は、日本医師会館での集合研修を予定しており、各都道府県医師会 3 名の参加を上限とさせていただきます（事務局含む。講師・ファシリテーター等を除く）。また本会の規程に基づき、受講者の旅費（日当を除く）を本会にて負担いたします。

なお開催の都合上、今回は交通アクセス等を考慮した上で、47 都道府県医師会を 2 つグループに割り振り、一部同時に進行する形で開催時間を調整しております。特段のご事情がございましたら個別の対応をお受けいたしますが、ご理解、ご協力の程お願いいたします。

出欠については、下記リンクにアクセスいただき、**6月9日（金）までに**フォームにてご回答ください。

また、本研修を修了した全ての方に修了証を交付し、医師の方には日本医師会生涯教育制度の単位・カリキュラムコードが取得できるようになっております。

JMAT研修 オプション研修 (COVID-19 編)

開催日：令和5年7月30日（日）

申込締切日：令和5年6月9日（金）

場 所：日本医師会館（東京都文京区本駒込 2-28-16）

対象者：各都道府県医師会 3 名を上限とし、都道府県医師会 JMAT 担当役員その他、  
各都道府県医師会が推薦する者（ロジスティクス担当者等、医師以外の者を含む）  
※都道府県医師会で、同様の研修を実施する際に中心となる方が望ましい。

標準テキスト：日本医師会「新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアル」（日本医師会より配布いたします）

**【都道府県（暫定）】**

- ① 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県 （24 道県）
- ② 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 （23 都府県）

**【実習時間】** ※JMAT-e (e-learning) による事前学習あり

- ① 9：00～10：10（開会挨拶、実技実習）  
10：10～10：20（休憩）  
10：20～13：00（机上実習）  
13：00～13：05（閉会挨拶、解散） ※お弁当と昼食会場をご用意
- ② 11：00～12：10（開会挨拶、実技実習）  
12：10～13：15（昼休憩） ※お弁当と昼食会場をご用意  
13：15～15：55（机上演習）  
15：55～16：00（閉会挨拶、解散）

回答フォーム

ご出席者については、以下をお伺いいたしますので事前にご確認のほどお願いいたします。

1. 氏名、2. 肩書き、3. メールアドレス、4. 生年月日（西暦）

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeY\\_0Wp\\_enCEK4o-NML3lgH-IHzzoE11ENf862Lw4gUgwkjLQ/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeY_0Wp_enCEK4o-NML3lgH-IHzzoE11ENf862Lw4gUgwkjLQ/viewform)



## JMAT 研修 オプション研修 COVID-19 編 プログラム

### 1-1. 学習目標

- 災害時、被災地内外から派遣される JMAT（日本医師会災害医療チーム）として、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）をはじめとする自チームの感染予防策を講じることができ、かつ派遣先において適切な感染対策（治療は除く）ができるよう、必要な知識・知見・技術を身につける。
- 特に全国的な感染拡大時には、被災地外からの支援を受けることが難しいことを鑑み、各地域の被災地 JMAT として活動するために身につけておく知識・知見・技術として実施されることが望ましい。

### 1-2. 対象者

- **医師**：JMAT 隊員への感染対策、自宅療養者等の巡回診療、派遣先の避難所や高齢者施設等における感染対策の指導を担う立場で受講
- **医師会・医療機関の事務職員**：JMAT の一員として活動する際の感染対策、また都道府県医師会における JMAT の派遣・受け入れに際して、必要な業務調整や医療資器材の調達等を担う立場で受講
- **看護職員、救急救命士や臨床検査技師等の医療関係職種**：JMAT 隊員として、医師の指示のもとに活動する立場で受講

### 1-3. インストラクター

- **医師会役員**：JMAT 活動と COVID-19 をはじめとした感染症対策の関わり
- **日本医師会 救急災害医療対策委員会**：「新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアル」（山口芳裕委員長または委員長の推薦者）、委員または委員の推薦者
- **災害医療の専門家**：DMAT 関係者、日本災害医学会関係者、日本赤十字社関係者、災害関係委員会委員
- **感染症の専門家**：DICT 関係者（日本環境感染学会）、各都道府県の感染症対策チームや疫学調査チーム（Infection Control Nurse 等）
- **保健行政関係者**：地域の保健所スタッフ等各都道府県の実情に応じて
  - ※ 一つの所属に絞るのではなく、インストラクター同士や受講者・研修開催医師会との「顔の見える関係」の醸成も目指す。
  - ※ 職種・資格は問わず、資質・経験を基に選任



#### 1-4. プログラムの構成

- 講義（座学）と実習の組み合わせにより行う。
- 各都道府県医師会等が開催する研修では、講義（座学）は、その一部又は全部を事前学習及びその確認（小テスト等の実施）の組み合わせとすることを認める。
- 感染対策を考慮しつつ、実習は可能な限り実地で行う。
- 本研修では「新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアル」（2022年3月日本医師会救急災害医療対策委員会）をテキストとして活用する。

#### 1-5. 進め方

- 令和4年度中に、日本医師会において47都道府県医師会担当役員・ロジスティクス担当向けに研修会を開催し、各都道府県医師会等で開催する研修の基本とする。同時に、課題の抽出・プログラムの見直しを行う。
- 講義（座学）は録画の上、日医が提供するe-learningシステム上に掲載し、地域で開催する研修の受講者が事前に学習できるようにする。
- 医師の受講者については、日本医師会生涯教育制度の対象とする。



## 2-1. プログラム構成

- 講義は、その一部又は全部を事前学習及びその確認（小テスト等の実施）とすることができる。
- 日本医師会生涯教育制度に合わせて原則 30 分単位とする。

	科目	概要	時間
講義	COVID-19 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山口委員長による COVID-19 の概論</li> <li>・ 「新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアル」（令和 4 年 3 月）について</li> <li>・ 医師会、JMAT に求められること</li> </ul>	事前学習 60 分
実習	標準予防策 （講義 + 実技）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所における感染対策（マニュアル p17-p27）</li> <li>・ アルコール等による手指消毒、環境の衛生管理</li> </ul>	60 分
	PPE の着脱 （講義 + 実技）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人防護具の着脱手順、N95 マスクの着脱手順 （マニュアル p54-p60）</li> </ul>	
	検体の採取 （講義 + 実技）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検体採取実習（鼻咽頭ぬぐい液、唾液）</li> </ul>	
実習	ゾーニング （机上演習）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所のゾーニング指導（マニュアル p28-p48）</li> <li>・ 保健所や専門家チームとの役割分担・連携体制</li> </ul>	60 分
実習	クラスター対策 （机上演習）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所のクラスター対策</li> <li>・ 保健所や専門家チームとの役割分担・連携体制</li> </ul>	90 分
合計	講義（座学）		60 分
	実習		210 分
修了式		講評、修了証書授与等	



## 2-2. 追加的な研修プログラム

- 2-1 で示したプログラムに加え、以下は、研修会の開催可能時間や研修会場の設備等の状況、各地域の JMAT の体制、受講者の属性等を踏まえて追加的に行う

実習	標準予防策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラックライトを利用した手指衛生のチェック、環境の消毒</li> <li>※会場に手洗い設備やベッド・リネン等が必要</li> </ul>
実習	ゾーニング (机上演習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用事例</li> <li>※事例集を配布することでも対応可能</li> <li>・高齢者施設のゾーニング指導</li> <li>※各地域の JMAT の体制や、受講者の属性を踏まえる</li> </ul>
実習	クラスター対策 (机上演習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用事例 (JMAT 隊員に感染者が出た場合の対応、手続き、搬送など)</li> <li>※事例集を配布することでも対応可能</li> <li>・高齢者施設のクラスター対策</li> <li>※各地域の JMAT の体制や、受講者の属性を踏まえる</li> </ul>